

# あいち病害虫情報 最新情報

平成31年 4月16日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## ムギ類の病気

ムギ類赤かび病感染予防の防除適期は、開花期です。生育状況に応じて適宜防除を進めましょう。詳細は、4月3日発表の「ムギ類赤かび病情報第1号」を参照してください。

コムギ赤さび病は、4月中旬現在、調査ほ場での発生を確認していません。今後の気象の変化に注意し、発生を確認した場合は、速やかに薬剤防除しましょう。

## イネ縞葉枯病対策

ヒメトビウンカ越冬世代のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は、昨年よりもやや高い状況です。あきたこまちやコシヒカリなど本病に対して感受性のある品種を移植栽培する場合は、生育初期の本病の感染を防ぐため、育苗箱施薬等でヒメトビウンカを防除しましょう。

## 水稻の育苗期防除

普通期栽培のは種作業が始まります。次の1～7に注意して適正な種子消毒に努めましょう。

- 1 細菌性病害にも効果のあるテクリードCフロアブルなどを用いて、種子消毒を行いましょう。
- 2 浸漬処理法の場合、薬液温度は15～20℃とし、処理濃度と時間を守り、処理後、種子に薬剤を十分に付着させるためによく風乾しましょう。
- 3 温湯種子消毒の場合、適切な処理温度、時間（例：60℃、10分）を守りましょう。
- 4 高温での浸種や長時間催芽は細菌感染を助長するので避けましょう。
- 5 出芽温度は30～32℃を守りましょう。
- 6 種子消毒後の廃液は、適切に処理しましょう。浸漬処理後の廃液処理が困難な場合には、種子粉衣（湿粉衣法）や塗沫法などの消毒方法に切り替えましょう。また、エコホープD Jなどの微生物農薬や温湯種子消毒を利用する方法もあります。ただし、微生物農薬による種子消毒は、薬液の温度が10℃以下、30℃以上では効果が劣りますので、処理温度に注意しましょう。
- 7 種子消毒後は病原菌の汚染がないよう管理しましょう。

## 落葉果樹の病害虫

ナシ黒星病は4月上旬の花そう基部での発生量は平年並です。また、ナシ赤星病の感染時期を迎えています。近年発生が多くなっているため、黒星病とともに防除しましょう。

モモを加害するクワシロカイガラムシの防除適期は、1齢幼虫の発生ピークです。昨年に比べ春先の気温が低く推移したため、クワシロカイガラムシの防除適期も遅くなっています。4月15日までの実測値を用いてクワシロカイガラムシの防除適期である1齢幼虫の発生ピーク予測日を計算した結果、表のとおりとなりました。

表 クワシロカイガラムシの防除適期

	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋
本年予測	5/11	5/17	5/16	5/12	5/12
(前年)	5/1	5/4	5/5	5/2	5/3
前年差	10日遅	13日遅	11日遅	10日遅	9日遅

注)アメダス平均気温から予測。4月15日までは本年実測値を、それ以降は平年値(大府、豊橋は前年値)を用いて計算。

なお、4月25日にも最新の気象データを用いて計算し直し、情報を提供する予定です。

### 果樹カメムシ類の飛来は平年並

果樹カメムシ(チャバネアオカメムシ)の飛来数は、越冬成虫量からおおよそ予測できます。今年のチャバネアオカメムシの越冬成虫量は、平年並です。越冬成虫量に関する詳細は、4月3日発表の「果樹カメムシ類情報第1号」を参照してください。

果樹カメムシは夜温が上昇すると、活動が活発になります。今後の園内への飛来状況に注意しましょう。

### ナシヒメシンクイの発生に注意!

ナシヒメシンクイのフェロモントラップに越冬世代成虫が誘殺され始め、誘殺ピークを迎えた調査地点もあります。越冬世代成虫は展葉したモモの葉に産卵し、ふ化した幼虫が新梢に食入して、芯折れを引き起こします。ナシヒメシンクイの防除適期は、卵から幼虫がふ化するタイミングで、この時期の気温だとフェロモントラップによる誘殺ピークから、約14日~17日後です。誘殺状況を参考に防除適期を逃さないように防除しましょう。

### ウイルス媒介虫を施設外に出さないようにしましょう!

トマト黄化葉巻病やトマト黄化病、キュウリ黄化えそ病の防除対策の基本は、ウイルス媒介虫を「施設内に入れない」、「施設内で増やさない」、「施設外に出さない」の3つです。収穫期間中はウイルス媒介虫であるタバココナジラミ(トマト黄化葉巻病、トマト黄化病)やオンシツコナジラミ(トマト黄化病)、ミナミキイロアザミウマ(キュウリ黄化えそ病)の防除を徹底しましょう。なお、次作の感染源を減らすため、収穫終了後は残さを持ち出す前に施設を密閉して、ウイルス媒介虫を死滅させましょう。

フェロモントラップなどの各種調査データは、HP「あいち病害虫情報」(アドレス:<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/investigation.html>)を参照してください。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室  
TEL 0561-62-0085 内線471 FAX 0561-63-7820